



●平成24年5月号 ●No.97 ●発行/館山市議会 ●☎294-8601 館山市北条1145-1 ●電話 0470-22-3527
 議会メールアドレス gikai.j@city.tateyama.chiba.jp



“渚の駅たてやま”のオープンセレモニーの様子

3月14日は、新年度予算に対
 した。
 の常任委員会に審査を付託しま
 した。
 議案について質疑を行い、所管
 を行った後、新年度予算を除く各
 議案の制定に関する審議を行
 った後、新年度予算を除く各
 議案について質疑を行い、所管
 の常任委員会に審査を付託しま
 した。

3月9日は、千葉県市町村総
 合事務組合規約の一部を改正す
 る規約の制定に関する審議を
 行った後、新年度予算を除く各
 議案の制定に関する審議を行
 った後、新年度予算を除く各
 議案について質疑を行い、所管
 の常任委員会に審査を付託しま
 した。

3月5日、6日及び7日は、
 12人の議員が一般質問を行い、
 市政の諸問題について市当局の
 考えをいただきました。

3月27日から3月26日までの会期29日間
 にわたって開かれ、市長提案の31議案と議会提出の1議案が原
 案どおり可決されました。

平成24年第1回臨時市議会(2月3日開催)
 平成23年度一般会計補正予算
 (第7号)など2議案を議決、1
 議案の撤回を承認
 平成24年3月定例会市議会
 平成24年度予算など32議案を議
 決

■ 主な内容 ■

- ★議案の概要 2～3頁
- ★委員会審査 3～4頁
- ★一般質問 5～9頁
- ★議決結果 10頁

最終日(3月26日)は、各委
 員会の委員長が、委員会での審
 査の経過及び結果を報告した後、
 討論、採決を行いました。
 続いて、追加議案6件の審議
 を行い、閉会しました。

議案の概要

第1回臨時会に提案された議案を紹介します。

3月定例会に提案された主な議案を紹介します。

議案第65号 館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定撤回の件について 平成23年第4回定例会に提案した議案を撤回しようとするもの。

議案第1号 平成23年度館山市一般会計補正予算(第7号) 歳入歳出それぞれ7億4924万3千円を追加し、総額178億7825万4千円としようとするもの。

国の23年度第3次補正予算に伴う防災行政無線整備事業、幼保一元化施設整備事業、北条小学校耐震改修事業、河川災害復旧事業の増額など。

【追加議案】

議案第2号 館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定について 個人市民税における寄附金控除制度の拡充等を行うもの。

議案第3号 議案第7号 平成24年度館山市一般会計予算及び4特別会計予算 左表

平成24年度一般会計・特別会計予算 (単位：千円)

会計名	本年度予算	対前年比	
一般会計	16,328,000	△ 0.5%	
特別会計	国民健康保険	6,488,730	5.8%
	後期高齢者医療	619,767	4.5%
	介護保険	4,453,705	4.1%
	下水道事業	802,639	0.5%
合計	28,692,841	1.7%	

議案第8号 千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について 平成24年4月1日から千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の追加を行うため

に、千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約を制定することについて、地方自治法第286条第1項の規定により、関係地方公共団体と協議しようとするもの。

議案第9号 館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画の変更について 辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律に基づき、館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画を変更する議会の議決を求めようとするもの。

議案第10号 館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について 組織改編に伴い、統計に関すること及び電子情報システムに関するものを総務部から市長公室に移管しようとするもの。

議案第11号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について 平成18年及び平成21年の給与改定による現給保障について、差額相当額を段階的に廃止しようとするもの。

議案第12号 館山市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について 館山市学童災害共済事業特別会計を廃止しようとするもの。

議案第13号 フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について 寄付金を充てる事業として、ダツペエに関する事業と小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業を加えようとするもの。

議案第14号 ダツペエ基金条例の制定について ダツペエの活動に関する環境整備のための基金を設置しようとするもの。

議案第15号 小谷家住宅保存活用支援基金条例の制定について 館山市指定文化財である小谷家住宅の保存及び活用の支援に関する事業に対する寄付金の適正な管理運営を図るための基金を設置しようとするもの。

議案第17号 館山市暴力団排除条例の制定について 暴力団排除に関する基本理念を定め、市、市民及び事業者の責務を明らかにするとともに、暴力団の排除を推進し、市民の平穏な生活と事業活動の健全な発展に寄与するための条例を制定しようとするもの。

議案第18号 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 第2次一括法の公布に伴い、必要となる条例の整備を行うためのもの。(5つの条例一部改正)

議案第19号 館山市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について スポーツ振興法が全部改正されたことに伴い、関係条文の整理をしようとするもの。

議案第16号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法の改正等に伴う市たばこ税及び個人市民税の均等割の税率の見直し等を行うもの。

議案第20号 館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について 入院医療費の支給対象者を中学校3年生まで拡大するとともに、県の制度改正に伴い、柔道整復師施術

平成23年度一般会計・特別会計補正予算 (単位：千円)

会計名	号数	補正額	予算現額
一般会計	第8,9,10号	△ 20,352	17,857,902
特別会計	国民健康保険	第4号	164,834
	後期高齢者医療	第3号	787
	介護保険	第3号	378
	学童災害共済事業	-	-
	下水道事業	第3,4号	△ 20,106
合計		125,541	30,324,458

療養費を現物給付化しようとするもの。

議案第21号 館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について Ⅱ第5期介護保険事業計画に基づき、平成24年度から平成26年度までの第1号被保険者の保険料率を改定しようとするもの。

議案第22号 議案第26号 平成23年度館山市一般会計補正予算及び4特別会計補正予算 Ⅱ左表

【追加議案】

議案第27号 議案第29号 平成23年度館山市一般会計補正予算及び下水道事業特別会計補正予算 (3月9日及び3月26日提出) Ⅱ上表

議案第30号 人権擁護委員候補者の推薦について (3月26日提出) Ⅱ人権擁護委員法の規定により、引き続き、平野明文さん (船形835番地) を推薦しようとするもの。

議案第31号 人権擁護委員候補者の推薦について Ⅱ人権擁護委員法の規定により、引き続き、西村芳明さん (湊20番地の2) を推薦しようとするもの。

議案第32号 館山市副市長の選任について Ⅱ関隆晴副市長の辞職に伴う後任として、田中豊さん (大戸148番地の2) を選任しようとするもの。

議案第33号 館山市教育委員会委員の任命について Ⅱ教育委員1名の辞職に伴う後任として、出山裕之さん (蘭69番地の1) を任命しようとするもの。

【議会提案議案】

発議案第1号 南房総地域の観光拠点である南房パラダイス等の安定的な管理運営を求める意見書について Ⅱ南房パラダイス等の県による管理運営と積極的な活用を求める意見書を提出しようとするもの。

委員会の審査

定例会における各委員会の審査等について、主なものをお知らせします。

総務委員会
委員長 本多成年議員

議案12件、陳情4件について審査を行いました。

議案第11号 館山市職員給与条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について

国家公務員の給与が7・8%削減されることとなったが、当市としては今後どのように考えるのか聞いたところ、現在行っている独自削減や県の動向等を踏まえてこれから判断をしてい

きたいとの説明がありました。

議案第13号 フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について

議案第14号 ダツペエ基金条例の制定について

議案第15号 小谷家住宅保存活用支援基金条例の制定について

それぞれ基金の目標額を定めているか聞いたところ、ダツペエ基金については特に定めていない。小谷家住宅に関しては、築120年程度経過しており、補修に係る見積額である2千数百万円から3千万円を、当面の目標額としている。

また、フレフレ・たてやま応援条例については、ふるさと納税に係る各基金を総括する条例であるので、目標額の設定はないとの説明がありました。

議案第16号 館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について

東日本大震災からの復興に関する防災施策に必要な財源確保が理由であるが、防災のために使用される目的税的ものになるのか、また、どれくらい増加が見込まれるのか聞いたところ、

る、目的税ではなく普通税である。また、一般財源となり、使途は制限されないが、さまざま

な防災のための事業費が膨らんでいくので、それに対する充当となる。金額は一人当たり500円の増で、対象が2万4千人ほどであるので、年間1200万円を見込んでいるとの説明がありました。

文教民生委員会
委員長 石井信重議員

議案6件、陳情3件について審査を行いました。

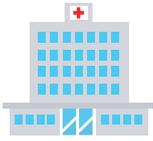
議案第19号 館山市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について

条文中の「スポーツ振興」を「スポーツ推進」に改めるのは、若潮マラソンの成功やトライアスロンアジア選手権の開催など、市のこれまでのスポーツ振興にある一定の成果が出たという意味で名前を変更するのかが聞いたところ、市で検討しての変更ではなく、スポーツ振興審議会の設置根拠法であるスポーツ振興法が、昨年8月にスポーツ基本法に全部改正されたことに伴い、法律上の名称が変更になっ

たことを受けてのものであるとの説明がありました。

議案第20号 館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について

入院医療費に関して、差額ベット代は本人負担かと聞いたところ、入院医療費については健康保険の対象となる医療費分と考えているとの説明がありました。また、受診した日に即入院した場合、その日の医療費全額が対象になるのかと聞いたところ、入院と外来とでは請求が分かれる場合があるので、小学校4年生から中学校3年生までは入院医療費のみが対象となる、との説明がありました。また、条例第7条第2項にある「受給券で医療費の支給を受けられない場合」とはどのような状況かと聞いたところ、受給券を利用しての現物給付は県の制度に基づき実施しているため、県外で医療を受けた場合や、受給券を持参せずに緊急で医療を受けた場合は、あとで償還払いをする制度を作つてあるとの説明がありました。



建設経済委員会

委員長 秋山 貴議員

議案2件について審査を行いました。

議案第26号 平成23年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

2期工事の進捗状況と終了見込みについて聞いたところ、下町雨水幹線工事が、地下水の水位が高く、雨水管渠の布設に時間がかかってしまったため、平成22年度の繰越事業がようやく終わった状況で、平成23年度事業も繰り越しているが、平成24年度で完成させたいと思つている。また、汚水管については、平成24年度が事業認可の期限になつているが、事業費の関係と国費の配分が少なくなつていて関係で、現在の状況では完了できないので、平成28年度まで事業期間の延伸をする予定であるとの説明がありました。

また、3期工事の方向性について聞いたところ、第2期工事の完了を平成28年度と見込んであるので、平成27年度にはある程度の方向性を出さなければならぬが、現在は白紙の状態であるとの説明がありました。

予算審査特別委員会を設置

平成24年度一般会計及び4特別会計予算の審査に当たり、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。

委員は次のとおりです。

- ◎委員長、○副委員長
- ◎本橋 亮一 ○鈴木 正一
- 石井 敏宏 森 正一
- 瀬能 孝夫 石井 敬之
- 石井 信重 秋山 貴
- 鈴木 順子



予算審査特別委員会の様子

【審査の概要】

主な質疑事項は、次のとおりです。

秘書管理事務中、市長交際費について、館山をアピールするトップセールスの重要性が増す中での減額理由を聞いたところ、財政状況や過去の実績を考慮して減額しているが、トップセールスは増えており、できるだけ経費をかけずに有効活用していくとの説明がありました。

子育て支援対策事業中、元気な広場運営委託料について、3年が経過しての評価、及び他地区への今後の展開計画を聞いたところ、子育て親子の交流の場の提供、相談、情報提供等を通じて、子育てをしている方の子育てへの不安の解消等に効果があつた、と評価している。他地区への施設を整備する計画はないが、元気な広場で培ったノウハウを生かして、各地区の公民館などでの子育て支援事業の展開を考えていきたいとの説明がありました。

農林業施設整備支援事業中、補修修繕用材料費に関し、積算の根拠を聞いたところ、要望は多くあるが、本年度の実績を踏まえ、中山間地域支援制度や、農地水保全管理支援制度など、

他の農村支援制度も含め、総合的に判断し決定したとの説明がありました。

消防機材整備事業中、自動車購入費について、年度により財源内容の内訳が違うのはなぜかと聞いたところ、特定財源の内訳が、国からの隔年での補助金と、県への申請による170万円程度の補助金が毎年あり、結果として地方債の額に影響がでているとの説明がありました。

歳入において、固定資産税の減少は、平成24年度に予定されている3年に一度の評価替えの影響なのかと聞いたところ、その評価替えによる見込みであるとの説明がありました。

国民健康保険特別会計に関して、保険税の滞納状況について、資格証の交付者数の傾向と、長年にわたり滞納が重なり払えない人達の傾向を聞いたところ、資格証及び短期証の数は増加傾向にある。また、滞納税は一括払いが原則だが、累積して払にくい場合は、状況に応じ、分割納付にも対応している。なお、現在は徴収を強化しており、担保をいただく形での強制執行、つまり差し押さえ等を前面に出して徴収しているとの説明がありました。

農地水保全管理支援制度など、

一般質問

市政に関する一般質問は、3月5日、6日及び7日の3日間にわたり、次の12名の議員が行ないました。議員別の質問要旨、分野別の主な質問と答弁は次のとおりです。
(太字の質問は次ページ以降に掲載しています。)

一般質問通告要旨

	<p>太田 浩</p> <p>①道路整備について(現状と歩道整備計画、県道南安房公園線、過去の取組・成果) ②海岸観光促進施設整備について(トイレの整備計画、洲崎トイレ) ③行政管理施設(公園等)について(バス停後方施設の設置、今後の設置計画)</p>
	<p>鈴木 正一</p> <p>①安心安全のまちづくりに関して(ハザードマップ、防災行政無線、地デジ難視対策) ②農業、漁業の振興に関して(食の安全、地産地消、旧公設市場用地、新規就農者育成) ③観光振興に関して(渚の駅たてやま、平砂浦周辺の活用)</p>
	<p>秋山 貴</p> <p>①渚の駅について(集客施策、商業棟建設計画) ②自治体クラウドについて(導入の検討・進捗状況、電子調達システム導入状況) ③坂田地区市有地払い下げについて(払い下げの経緯、残土発生元の事業者・工事の調査)</p>
	<p>内藤 欽次</p> <p>①坂田地区残土埋め立て事業について(自然環境保全、公有財産の所管換え売却の禁止) ②安房地域医療センターの減免措置について(地域医療を守る方策、経営委譲時の資産・負債) ③給食食材検査のための放射性物質測定器購入、食材の基準について</p>
	<p>龍崎 滋</p> <p>①防災教育と対策について(小中学校防災教育の現状と今後の取組、防災対策・組織化の必要性) ②残土問題について(条例改正、住民の意向の反映) ③PFIの導入について(PFI事業の導入、今後の導入計画) ④就農者支援と後継者育成について(就農者育成と定着の取組、農業者の集団化・組織化の必要性)</p>
	<p>鈴木 順子</p> <p>①人口減少に対する施策について ②残土条例改正の取組について ③学校給食の独自運営による問題点について ④私道舗装等助成・法定外道路維持補修の見直しについて ⑤410号線の早急な整備について</p>
	<p>瀬能 孝夫</p> <p>①東日本大震災の廃棄物(瓦礫)の受け入れについて ②再生可能エネルギーについて(民間普及への取組、公共施設への導入)</p>
	<p>石井 敏宏</p> <p>①安房地域医療センターと減免問題について(減免の打ち切り、撤退時の財政負担、国からの特別交付税、非課税条例の交付税への影響) ②建設残土問題について(残土条例見直し、普通財産払い下げ後の管理監督、県外残土割合、隣接地権者の同意) ③住民監査請求について(傍聴不許可、陳述人数の制限、陳述時間の根拠、抗議文の対応、識見監査委員の政治献金)</p>
	<p>森 正一</p> <p>①地域医療に関して(安房地域医療センターの必要性、公立病院開設の可能性、安房地域医療センターへの支援) ②渚の駅に関して(入込み客数、商業施設) ③入札予定価格の事前公表のメリット ④スポーツ合宿のニーズに関して ⑤防災、災害対策に関して(防災ラジオの導入、首都直下型地震発生時の援助・支援)</p>
	<p>望月 昇</p> <p>①山梨県笛吹市・兵庫県篠山市との災害協定について(具体的内容、相互の交流、交流の予算) ②災害時における自助・共助・公助について(備えるべき物資、資金的な援助) ③会計予算に伴う資金運用について(運用計画、運用実績)</p>
	<p>本多 成年</p> <p>①館山市残土条例について(残土条例の認識、明確な範囲の指定、残土の放射能許容値) ②有害鳥獣駆除対策について(具体的な施策・成果、狩猟許可取得者・駆除従事者の人数、個人農業従事者への助成制度) ③自治基本条例について(市民の自主的な活性化の会合、市民要望からの条例制定)</p>
	<p>榎本 祐三</p> <p>①地域医療に対する認識と取組に関して(地域医療の認識、地域医療の取組) ②自治基本条例・子供医療費に関して(自治基本条例の制定、いつからの取組か、子供医療費支給の財源) ③文部科学省配布のDVDに関して ④ごみ行政に関して(君津市最終処分場の漏水、ごみ収集事業の落札率、ごみ再資源化事業)</p>

※ 紙面の都合上、通告質問の要旨を掲載しています。詳細については、5月中旬ごろ図書館に配置予定の会議録、または館山市ホームページの会議録検索システムでご覧ください。

主な質問と答弁

環境・残土問題

- 自然環境保全の認識は？
- 東日本大震災瓦礫の受け入れは？
- 再生可能エネルギー民間普及は？
- 残土条例見直しはいつ？
- 現在の残土条例の認識は？
- ごみ収集事業に問題は？

問 坂田地区残土埋め立て事業の自然環境保全について伺います。(内藤欽次議員)

答 生物多様性や生態系の保存など、自然環境を保全していくことは大事なことでと考えています。坂田の事業についても、県において林地開発の許可申請の中で、次の4つの基準から審査が行われています。一つ目に、災害の防止の基準として、周辺に土砂の流出や崩壊、その他の災害を発生させるおそれがないか審査されます。二つ目に、水の防止の基準として、流域内に水を発生させるおそれがないか審査されます。三つ目に、水の確保の基準として、地域で利用される水の確保に著しい支障を及ぼすことがないか審査さ

れます。四つ目に、環境の保全の基準として、周辺の環境を著しく悪化させるおそれがないか審査されます。審査については、県内部での審査のほか、有識者によって組織されている千葉県森林審議会の専門部会である森林保全部会でも審査が行われています。また、埋立て事業の許可申請の中では、災害の防止・土砂の安全性の基準で審査が行われています。坂田の事業については、これらの審査が行われた上で、許可されたものと考えています。

問 東日本大震災の復興支援として瓦礫の受け入れについて伺います。(瀬能孝夫議員)

答 今回の震災により発生した瓦礫の量は、あまりにも膨大で、すべての日本人が心をひとつにして助け合いの精神を発揮しなければ、解決は難しい問題であると認識しています。これらについて、可能であれば、住民の理解を得た上で、率先して受け入れたいという気持ちはありますが、市のごみ処理施設の能力と処理量の現状からすると、

受け入れる余裕がないこと、さらには、現在、市としても、焼却灰の受け入れ先の事情により、日々発生する焼却灰の処分が苦慮していることから、震災で発生した瓦礫の受け入れについては、困難であると考えています。

問 再生可能エネルギーの民間普及について伺います。(瀬能孝夫議員)

答 平成15年に策定した館山市地域新エネルギービジョンの中で、太陽光エネルギーを重要テーマとして、太陽光発電の公共施設への導入を推進することや、一般家庭へ普及・拡大を図ることを示しています。このビジョンに基づき、民間普及への取組として、平成21年度から、住宅用太陽光発電システム設置への補助事業を行っています。

問 市の残土条例の認識を伺います。(本多成年議員)

答 市の残土条例が制定された当初の目的は、当時行われていた埋立事業の中には、法律等の規制を受けない事業もあったことから、環境への影響や災害の発生が心配される中、これを規制し、環境の保全や災害防止を図ることでした。現在でも、この当初の目的は、果たせているものと認識しています。ただし、市内で行われる埋立事業で、その面積によっては、県条例の適用を受けるものもあります。これらについて現在は、県の管理となりますが、市内で行われる埋立について、市民生活を守るという視点で考えた場合、市が主体となって、責任を持って対応していくことが必要ではないかと感じています。このため、条例の見直しを進めることとしたところでです。

問 残土条例の見直しについて伺います。(石井敏宏議員)

答 平成24年度に見直し作業を行い、できるだけ早い時期に、施行できればと考えています。また、改正案の大まかな方針としては、市内で行われる埋立事業については、市として責任を持つて対応ができるようにすることを基本に考えています。

現状では、問題なく業務が行われています。

地域医療・少子化対策

- 地域医療の方策は？
- 人口減少の対策は？
- 安房地域医療センターへの支援策は？
- 子ども医療費支給拡充はいつ？

問 地域医療の方策について伺います。(内藤欽次議員)

答 予防医療では、毎年5月から6月にかけて実施している総合健診をはじめ、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への助成、中学生及び高校1年生相当の女子を対象とした子宮頸がんワクチンや、乳幼児への小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの任意予防接種の無料化、がん検診推進事業による乳がん・子宮がん・大腸がんの無料検診などの各種検診の実施、また、小・中学生のうちから生活習慣病予防など健康に関する知識を高めてもらうための、生活習慣病予防事業の実施、保健師が家庭訪問により市民と直接面談する健康相談等の実施を通じて、より一層の地区活動の充実を図りたいと考えています。

問 ごみ収集事業の落札率の低いことについて伺います。(榎本祐三議員)

答 4件の委託業務について数値を示しますと、39.4%、52.0%、64.2%、73.9%となっております。これらは、可燃ごみに係る収集業務ですが、

問 人口減少に歯止めをかける具体的施策について伺います。
(鈴木順子議員)

答 市の人口減少に歯止めをかける具体的な措置としては、少子化対策、雇用の創出、移住・定住の促進の3つの施策が柱であると考えています。まず、少子化対策については、子育てしやすい環境を作り、子どもを安心して生んでいただくことが最も重要であり、様々な子育て支援策の充実を目指しています。その施策の一つとして、新たに、子ども医療費助成事業において、本年8月から保護者の経済的負担の大きい入院医療費の助成対象を、小学校3年生までの子どもから、中学校3年生までの子どもにも拡大する予定です。次に、雇用の創出については、基幹産業である農水産業や商工業、観光関連産業など、あらゆる分野での生産・消費の拡大を図り、市の経済を活性化させることで、雇用の場の創出につなげていきます。次に、移住・定住の促進については、引き続き、NPOや関係機関と連携し、UIJタウンや二地域居住、あるいは都心などへの通勤圏として当地を希望する方々のニーズに答えられるよう、地域情報の提供や

居住・就労などの支援を行っていきます。これらの施策に積極的に取り組むことにより、市の人口減少に歯止めをかけていきたいと考えています。

問 安房地域医療センターへの公的支援について伺います。
(森正一議員)

答 救急医療体制の充実を図り、地域医療を守るため、現在建設中の安房地域医療センター救急棟に対する安房郡市広域市町村圏事務組合を通じての建設費の助成1億5千万円のうち、市は、約8300万円を負担しています。また、市として、固定資産税及び都市計画税約3千万円の減免、概算での貸付料が年間約1100万円相当と算定される病院敷地の無償貸付け及び特別交付税措置制度を活用した救急医療事業運営に対する3793万4千円の財政支援を行い、医療機器整備や救急棟建設事業に対する無利子貸付1億6500万円についての補正予算を計上したところです。

問 子ども医療費拡充の時期と財源について伺います。
(榎本祐三議員)

答 子ども医療費拡充の時期

については、施政方針でお示したとおり、本年8月から受給券の更新に合わせ、保護者の経済的負担の大きい入院医療費の助成対象を、小学校3年生までから中学校3年生までに拡大する予定です。その財源については、市の一般財源を充てることを考えています。

**防災対策
安心安全対策**
●ハザードマップの見直しは？
●首都直下型地震発生時は？
●災害協定の内容は？

問 ハザードマップ見直し状況について伺います。
(鈴木正一議員)

答 市として市全域版と、地域版の防災マップを作成する予定で作業を進めています。全域版の防災マップについては、

この地域版の防災マップは、現在の想定以上の津波に対しても、住民等が迅速に避難できるよう町内会や自主防災会の意見を反映し、5m、10m、15mと海拔を色分けし、避難ルート、避難場所、地区の防災倉庫などを表示したもので、今後、県が津波浸水予測図を見直した場合でも、パソコンでデータ化していますので、容易に修正が可能なものです。

問 首都直下型地震発生時の援助、支援計画について伺います。
(森正一議員)

答 首都直下型地震が発生した場合には、市への被害が少ないことが前提となりますが、相互扶助の理念に基づき、応援要員、応援物資について積極的に支援をする考えです。

問 災害協定の具体的な内容について伺います。
(望月昇議員)

答 両市の区域内で災害が発生した場合において、両市が相互に応援し、その応急対策活動を円滑に遂行することを目的としています。主な応援の内容ですが、被災した協定市からの要請に基づき、被災者の食糧、その他生活必需品の提供、被災者

の救出、医療、防疫、施設の応急復旧並びにそれらを実施するための応援職員の派遣、被災者を一時的に収容するための施設の提供、被災した児童、生徒等の一時的な受入、災害ボランティアの斡旋を行うことです。

観光振興・渚の駅
●洲崎トイレ設置はいつ？
●渚の駅商業棟の建設計画は？

問 洲崎トイレの設置場所、時期について伺います。
(太田浩議員)

答 県道南安房公園線から洲崎灯台へ向かう市道脇に設置し、時期は、平成24年度を予定しています。



渚の駅たてやま

問 渚の駅商業棟の建設計画について伺います。
(秋山貴議

員)

答 平成24年度予算案に設計委託料を計上させていただきました。オープン後の「渚の駅たてやま」の状況や出店希望者などからの意見を踏まえながら、平成25年度以降に整備を進めていきたいと考えています。

教育問題・学校給食

●防災教育の現状と今後は？
●学校給食の問題点は？

問 防災教育の現状、今後の取組について伺います。(龍崎滋議員)

答 各学校では、今回の大震災を受け、津波発生を想定した避難訓練を実施しており、具体的には、新たな避難場所に指定した高台への避難訓練の実施や、避難に係る時間の計測、幼稚園との合同避難訓練を実施するなどの取組を行っています。また、学校生活や授業の中で、様々な機会を捉え、意識付けの強化を図り、防災教育の推進に努めています。

問 独自運営になった学校給食の問題点について伺います。

答 (鈴木順子議員) 給食センターは、4月以降、管理部門を除き全て民間委

託となりましたが、委託業者と定期的な打合せを行い安全でおいしい給食を提供するという共通認識のもと、円滑な運営が図られており運営面における問題は生じていません。しかしながら、旧組合から引き継いだ施設や備品が老朽化しており、安定的に給食を提供するため、現有的に給食を適切に維持保全しつつ、新たな施設整備に取り組んでいきたいと考えています。



館山市給食センター

農業振興

●旧公設卸売市場用地の利用は？
●就農者の育成、定着は？

問 旧公設卸売市場用地の利用方法について伺います。(鈴木正一議員)

答 地域農業の6次産業化を目指したモデル拠点と位置付け

て、都市農村交流拠点としての機能を検討するため、地域農業活性化懇談会を平成24年2月末までに7回開催し、グループ討議や地域づくりアドバイザー事業を活用した講演、さらに、2月16日に、地域づくりアドバイザーとともに香取市の道の駅くりにもと「紅小町の郷」の視察研修を行いました。また、来年度、地方自治研究機構の共同調査研究事業として「公設地方卸売市場用地を核とした地域農業の活性化に関する調査研究」が採択され、この中で地域農業活性化策を含んだ計画を策定します。

問 就農者の育成と定着の取組みについて伺います。(龍崎滋議員)

答 市としては、高齢化や担い手の不足などの課題を抱える地域農業の改革が必要であり、農業の6次産業化、地産地消及び農商工連携などを推進し、従来の農業にとらわれず、農業者の主体的な創意工夫をもった取組の促進など、農業者の意識改革に努めています。これらにより、将来の担い手となる若者にとって、地域農業が魅力ある産業となるよう努めていきたいと考えています。地域おこし協

資金運用の実績は？

問 資金運用の実績について伺います。(望月昇議員)

答 平成23年度は、基金について、定期預金と国債の購入により資金運用しています。定期預金は、13億5千万円を3か月定期として運用し、運用益は、約82万円の見込みです。国債は、平成22、23年に購入しましたが、合計で額面約13億7500万円を2年国債として運用し、運用益は、平成22年に購入した分として、37万6千円の見込みとなっています。今後とも、資金管理運用基準及び債権運用指針にのっとり、財政状況を勘案しながら、安全・確実な方法により資金運用を行い、歳入の増加を図っていききたいと考えています。

道路整備状況は？

問 道路整備の現状と歩道整備計画について伺います。(太田浩議員)

答 市内の国道及び県道の歩道整備状況については、道路総延長の約84.1kmのうち、31.5km、市道では、道路総延長の約338.6kmのうち、16.1kmの歩道整備がされています。

今後の歩道整備計画については、新設道路に設置されるものを含め、国道及び県道で、約4.1km、市道で、約1.6kmの歩道整備が予定されています。

自治基本条例の制定は？

問 住民からの声があれば研究する考えはないか伺います。(本多成年議員)

答 条例の制定については、市政への市民参加や住民投票、議会の運営などの内容にまで踏み込むものとなるため、市政運営の主役である市民や、議会での気運の高まりが不可欠であると考えています。これまで、自治基本条例の制定を目指す自治体の様子を調査・研究しており

ますが、条例制定に関し問題となつて居るのは、例えば、大半の市民は、関心が薄い反面、積極的な人だけが関与すること、条例の内容が偏つたものとなり、住民自治に影響を及ぼす可能性があるということです。既に、条例を制定している自治体の話を聞きますと、「結局は、市民自治を推進するための理念を示したものであり、実効性の確保に至るまでには程遠い。」といった事例など条例の形骸化が目立ちます。市では、23年度開催した懇談会等を実施した際や、市長への手紙などで、広く市民の皆様の声の伺ってきましたが、その中で、現在のところ自治基本条例の制定を求める市民の声は何一つありません。市が目指すべき自治基本条例は、広く一般市民の方々が、自ら求めるものとならなくては意味がなく、また、当然、行政側が押し付けるものであつてもなりません。このような意味において、条例の制定には、未だ、機が熟していないものと判断をしています。そのため、自治基本条例の制定については、今後も市民ニーズや議会の声の高まりなどを総合的に考慮しながら、市民生活に直結した他の各種施策との優先

自治体クラウドの導入は？

順位などを判断しつつ、対応について検討していきます。

問 自治体クラウドの導入検討状況について伺います。(秋山貴議員)

答 現在、千葉県地域IT化推進協議会の自治体クラウド活用研究会においての研究、あるいは、総務省において実施している、自治体クラウド開発実証事業の状況や他の自治体の動向などを注視しながら、第2期館山市情報化推進計画で掲げた重点施策の1つである「情報化による行政事務の効率化」を実現するため、導入の可能性や問題点について検討を行っています。また、自治体クラウドのこれまでの導入の状況としては、平成23年度予算編成作業から導入している財務会計システムや例規管理システムなどを外部サーバによるシステムとして利用しています。また、現在、再構築を進めている市ホームページの作成システムについても、外部サーバによるシステムを導入します。

監査委員の政治献金は？

問 識見監査委員からの候補者への政治献金について伺います。(石井敏宏議員)

答 平成14年の市長選挙、平成23年の市議会議員選挙において、友人の候補者に陣中見舞いを渡しました。

本市への視察訪問

2月1日 宮城県加美町議会の議員がウエルネスリゾートパーク計画について視察のため来館しました。

2月8日 群馬県みどり市議会の議員が議会中継システムについて視察のため来館しました。

2月9日 新潟県燕市議会の議員が館山銀座商店街「まちなか塾」化拠点整備事業について視察のため来館しました。

3月30日 神奈川県座間市議会の議員が行財政改革、事業仕分けについて視察のため来館しました。

会議録の検索・閲覧

第1回臨時会、3月定例会及

び委員会の会議録は、5月中旬にホームページから検索・閲覧ができます。

また、従来どおりの会議録も、図書館で閲覧ができます。

市議会を傍聴しませんか！

本会議の傍聴手続きは、希望する当日に議会事務局(市役所本館2階)前で用紙に住所、氏名等を記載するだけです。(委員会の場合は事前に連絡をお願いします。)

また、本会議を開いている時は、インターネットで、本会議の生中継を配信していますので、ご利用ください。(館山市のホームページからご覧になれます。)

次の定例会の予定
開会日：6月8日(金) 午前10時～
一般質問：6月12日(火)、13日(水)
予備日：14日(木)
各日それぞれ午前10時～
請願・陳情提出締切：6月1日(金) 正午まで

編集後記

東日本大震災発生から早くも1年が過ぎました。館山市では直接的な被害はなかったものの、福島第1原子力発電所の放射能漏れ事故による主要産業への風評被害や計画停電による被害については、甚大なものがありません。震災からの復興は、なかなか進まず、円高や欧州の政府債務危機による金融市場の影響など、依然として景気は低迷し、地域経済は厳しさを増し、市の財政も大変厳しい状況を迎えています。このような中、第1回臨時会では震災対策のための補正予算を審議いたしました。また、3月議会では、平成24年度予算などを審議しました。

これからも議会として、チェック機能等を十分發揮し、市の明るい将来に向けた活動に取り組んでいきます。(吉田惠年)

* 議会報編集委員会 *
◎吉田 惠年 ○石井 信重
本多 成年 秋山 貴
(◎委員長 ○副委員長)

議会や議会だよりに関することのご意見、ご質問等は議会事務局まで電話又はメール(番号及びアドレスは表紙参照)でご連絡ください。

平成24年第1回臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第65号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	撤回承認 賛成多数
議案第1号	平成23年度館山市一般会計補正予算(第7号)	原案可決 全会一致
議案第2号	館山市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致

平成24年3月定例会提出議案等議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第3号	平成24年度館山市一般会計予算	原案可決 賛成多数
議案第4号	平成24年度館山市国民健康保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第5号	平成24年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第6号	平成24年度館山市介護保険特別会計予算	原案可決 賛成多数
議案第7号	平成24年度館山市下水道事業特別会計予算	原案可決 全会一致
議案第8号	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	原案可決 全会一致
議案第9号	館山市畑地区に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決 全会一致
議案第10号	館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市職員給与条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第12号	館山市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第13号	フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第14号	ダッペエ基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第15号	小谷家住宅保存活用支援基金条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第17号	館山市暴力団排除条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第18号	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第19号	館山市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第20号	館山市子ども医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 全会一致
議案第21号	館山市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 賛成多数
議案第22号	平成23年度館山市一般会計補正予算(第8号)	原案可決 全会一致
議案第23号	平成23年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決 全会一致
議案第24号	平成23年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第25号	平成23年度館山市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第26号	平成23年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 全会一致
議案第27号	平成23年度館山市一般会計補正予算(第9号)	原案可決 全会一致
議案第28号	平成23年度館山市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決 全会一致
議案第29号	平成23年度館山市一般会計補正予算(第10号)	原案可決 全会一致
議案第30号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決 全会一致
議案第32号	館山市副市長の選任について	原案同意 全会一致
議案第33号	館山市教育委員会委員の任命について	原案同意 全会一致
陳情第11号	ふたたび被爆者をつくらないために現行法(原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律)の改正を求める議会決議・意見書採択のお願い	了承できない (文教民生委員会)
陳情第12号	海上自衛隊第21航空群の被災地における活躍に感謝状を贈る決議を求める陳情書	了承できない (総務委員会)
陳情第13号	永住外国人への地方参政権付与法に反対の意見書を求める陳情書	了承できない (総務委員会)
陳情第14号	尖閣諸島を守るための政策の徹底のお願いに関する意見書の提出を求める陳情書	了承できない (総務委員会)
陳情第15号	在名古屋中国総領事館への名城住宅跡地売却に反対の意見書の提出を求める陳情書	了承できない (総務委員会)
陳情第16号	選択的夫婦別姓法に反対の意見書の提出を求める陳情書	了承できない (文教民生委員会)
陳情第17号	人権侵害救済法に反対の意見書の提出を求める陳情書	了承できない (文教民生委員会)
発議案第1号	南房総地域の観光拠点である南房パラダイス等の安定的な管理運営を求める意見書について	原案可決 全会一致